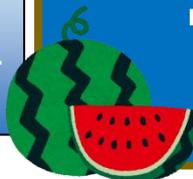


か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子



すがわら



令和5年 7月
愛川町立菅原小学校
発行責任者 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

「子どもたちの力」を信じて

校長 前盛 朋樹

先日、児童会の「あいさつ運動」の取り組みが行われました。環境改善委員会が中心となり、朝、校門のところに立って、登校してくる子どもたちに「おはようございます」と声をかけます。委員会の子どもたちが「仲間」を誘ってくるので、一日一日「あいさつ運動」への参加が増え、最終日には60人を超える子どもたちが参加。菅原小の校門前は、元気な「おはようございます」の声で溢れ、それはそれは素敵な空間でした。コロナ禍で、なかなか実現することの難しかった子どもたちどうしの「心の交流」を実感するとともに、あらためて「子どもたちの力」の素晴らしさを実感しました。これからも「子どもたちの力」を信じて教育活動を行っていききたいと思います。



今年度は4年ぶりに、水泳学習を行うことができました。4年間清掃していなかったプールの清掃、プール本体や排水溝等のサビ、プールサイドの補修、濾過機ポンプの点検等、直前まで「本当にできるのだろうか」と心配でしたが、教育委員会のバックアップのおかげで、例年より短い期間ではありましたが、水泳学習を行うことができました。1～4年生の子どもたちが、学校での初めての水泳学習ならば、教員側も4年ぶりの水泳指導。あらためて「水泳指導研修」を行い、指導に臨みました。また、急遽のお願いであったにもかかわらず、連日の猛暑の中、PTAの方々にも多大なるご協力をいただき、「見守り」のサポートをしていただきました。おかげさまで、子どもたちは笑顔で水泳学習を終えることができました。心より感謝申し上げます。夏休みに、海や川で遊ぶ機会もあると思いますが、安全に楽しく、この水泳学習が生きることを願っています。

水泳学習だけではなく、読み聞かせの「ポエム」さん、交通安全の見守りをはじめ、この1学期、様々な方々が、子どもたちのためにご尽力くださいました。

先日も、飼育・栽培委員の子どもたちが名前を考えた地域の方との花壇“Wind Flower 風のながれる花だん”を、「子どもたちが夏休みに入る前に、きれいにしたい!」と、地域の方や地域学校協働活動推進員の方が、わざわざ整備をしてくださりました。「子どもたちのため」と、多くの方が様々な形で関わってくださり、本当に心強く、心より感謝申し上げます。

もうすぐ待ちに待った夏休み。子どもたちが、家庭や地域に帰っていきます。イベントを楽しみにしている子どもたちも多いかもしれません。もちろん、家庭や地域で、ふだんなかなかできない「体験」ができれば素晴らしいですが、同時に、「この長い42日の夏休みをどう過ごすのか」を、子どもたち自身が自分で考えて行動することが大切だと考えています。イベントを楽しみにしつつ、ふだんの生活を子どもたち自身がどう作るか。どの子どもにも、同じ42日間です。自分の好きなことに「チャレンジ」できれば、楽しいだけでなく自信もつけられるかもしれません。学年等に応じ、子どもたちと一緒に考えていただけたら嬉しいです。9月1日、心も体も大きく成長した子どもたちに、また元気に会えることを、心から楽しみにしています。

1学期も終わりに近づいてきました。お子様は毎日元気よく登校していますか？そして、ご家庭では学校の様子をどのように話していますか？

子どもたちは、一生懸命考えて努力していても、それが報われずに困っていることがあります。そのようなとき、「できないのは、なぜだろう？」「どうしたら、できるようになるのだろう？」と子どもの気持ちに寄り添い、得意なことやよさを生かしながら、苦手なことや困っていることに合わせて支援をしていくことが大事です。まずは、子どもの話にしっかり耳を傾けてみてください。

デニス・ウェイトリー（アメリカの人間行動学博士）の詩を紹介します。

子どもの話に耳を傾けよう

きょう、少し

あなたの子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

さもないと、いつか子どもはあなたの話を聞こうとはしなくなる。

子どもの悩みや要求を聞いてあげよう。

どんなに些細な勝利の話も、どんなにささやかな行いもほめてあげよう。

おしゃべりを我慢して聞き、いっしょに大笑いしてあげよう。

子どもに何があったのか、何を求めているかを見つけてあげよう。

そして言ってあげよう、愛していると。毎晩毎晩。

叱ったあとは必ず抱きしめてやり、

「大丈夫だ」と言ってやろう。

子どもの悪い点ばかりをあげつらっていると、そうやってほしくないような人間になってしまう。

だが、同じ家族の一員なのが誇らしいと言ってやれば、

子どもは自分を成功者だと思って育つ。

きょう、少し

あなたの子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

そうすれば、子どももあなたの話を聞きに戻ってくるだろう。



「夏休みの安全な過ごし方について」

児童指導担当 中村 俊洋

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。子どもたちだけで過ごす時間が増え、普段なかなかすることのない経験ができる期間となることでしょう。しかし、事前^{じぜん}に起こりうることを考えさせ、正しく、安全^{あんぜん}に行動できるように指導・支援^{しえん}することは大人の役目です。ご家庭でも次のことに注意^{ちゅうい}して、お子様にお声がけ^{こえ}くださいますよう、お願いいたします。

- 交通安全^{こうつうあんぜん}を心^{こころ}がけること。
- 水の事故^{みずじこ}に気^きをつけること。
- 火遊び^{ひあそ}は絶対^{ぜったい}にしないこと。
- 花火^{はなび}は子ども^こだけでしてはいけないこと。
- インターネットやSNS^{など}等でのトラブル^なに注意^{ちゅうい}すること。
- お金^{かね}や物^{もの}のやりとり^{いえ}について家のルール^{まも}を守^{まも}ること。
- 公園^{こうえん}など公共^{こうきょう}の場^ばでは、マナー^{まも}を守^{まも}って過^すごすこと。



以上の点^{いじょう}については、学校^{てん}でも日頃^{がっこう}より指導^{ひごろ}していますので、ご家庭^{しどう}でもご指導^{かてい}をよろしくお願^{しどう}い^{ねが}い^います。